奨 学 生 願 書

西暦　　　　　　年　　　月　　　日

一般財団法人 ジェイリース奨学基金

　　　　理事長　中島　拓　　殿

私は貴財団奨学金の募集・推薦要項の全記載内容に同意・了承の上、希望したく、下記記載事項と所定の書類を添付してここに申請いたします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | 　 | 生年月日 |  西暦　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 年齢 | 　　　　　　　　 歳 |
| 氏名 |  | 性別 |  |
| 本人の現住所 | 〒　　　　　－　　　　　　 |
|
| 電話番号 |  | 国籍 |  |
| E－mail(パソコン) |  | Ｅ－mail(携帯) |  |
| 家族の住所 | 〒　　　　　－　　　　　　 | 家族の電話番号 |  |
|
| 家族状況 | 続柄 | 氏名 | 年齢 | 職業等 |
|  | 　 | 歳 | 　 |
|  | 　 | 歳 | 　 |
|  | 　 | 歳 | 　 |
|  | 　 | 歳 | 　 |
| 住まい | 家族と同居 賃貸 持ち家　など |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ・郵送の場合は上半身の写真を糊付けしてください。（写真の裏面に氏名を記載してください）本　　人　　履　　歴・データで送る場合は上半身の画像データを添付してください。 |  | 学歴・職歴等 |
| 西暦　　　　年　　　月　 | 例　：　2018年4月　○○高等学校入学2021年3月　○○高等学校卒業　など |
| 西暦　　　　年　　　月　 |  |
| 西暦　　　　年　　　月　 |  |
| 西暦　　　　年　　　月　 |  |
| 特記事項 | 趣味 |  |
| 性格 |  |
| 本財団の応募 | 回数 | 例　：　初めて、２回目、３回目 |
| 視力について（先天性か中途か、視力障害、視野障害、見え方等についての詳細)※記入必須 | 例　：　先天性視覚障害。生まれた時から全盲である。例　：　先天性視覚障害。生まれた時から視力に障害があり、月日がたつごとに見えなくなり20歳頃から視野障害も発症し、現在は中心暗転の状態である。例　：　中途の視覚障害。35歳頃から視力に障害が発生し、40歳の現時点では、障害者手帳１級の手動弁である。夜盲症もあるため、夕方以降の歩行が極めて困難である。例　：　中途の視覚障害。小学3年生の時に事故で障害者手帳2級の視覚障害を負った。高校生の頃に緑内障を発症し、高眼圧防止のための点眼治療を継続しているが最近は視野狭窄に悩まされており墨字から点字への切替訓練を受けている。など |
| 生活状況※記入必須 | 毎月の収入と支出、扶養家族の状況。未婚者の場合は同居家族の有無も記載してください。　　学業や訓練を行ううえで金銭的に負担になっていること。奨学金の使途。など例　：　親からの仕送り月額10万円で生活。賃貸アパート（1人暮らし）家賃、食費、光熱費、通信費に充てるため。研究を進めるための資料の購入や旅費の工面が困難である。弟も進学予定のため今以上の仕送りは望めない。例　：　年金生活の両親と同居。退職し無収入のため貯蓄を切り崩し月5万円を家に入れている。貯蓄残高が少なくなってきたため、授業の一環である病院実習に係る交通費等経費に奨学金を充てたい。例　：　長男、長女と持ち家で３人暮らし。障害基礎年金と障害者福祉手当、児童扶養手当のみで毎月ギリギリの生活である。訓練校では音声パソコン操作を勉強しており、1日も早く再就職するために、奨学金で自宅勉強用の音声パソコンを購入してビジネスパソコンスキルの習得に役立てたい。 |
| 当財団を知ったきっかけについて※記入必須 | 例　：　〇〇大学の視力障害者支援センターから紹介された。 ○○視覚障害者訓練施設から紹介された。○○盲学校の先生から話を聞いた。 ○○という団体からパンフレットを貰った。など |
| 備考 | その他特記すべき事項等 |

 （改定日）　2022.5.20　Word－ ver3